

実際の臓器を見ながらがんについての説明を受ける生徒ら

石狩管内の高校生対象、札北高で



医学部を目指す高校生に大学教授らが出前授業する「高校生メディカル講座」が4日、札幌北高で開かれた。同校のほか、石狩管内の高校生合わせて72人が参加し、医者としての心構えや最先端の医療技術について学んだ。

(上田貴子)

道教委の地域医療を支える人づくりプロジェクト事業。講師は北海道のりを紹介した後、高OBで、北大大学院がん治療の歴史を紹介。医学研究科の田中伸哉教授らが務めた。

田中教授は医学部の学生の生活や医師への光らせて腫瘍を取り除

72人参加 本物の臓器触れる体験も

く手術のビデオも見せ、研究者らの粘り強い研究と努力が現在の医療に結び付いていることを話した。

生徒はまた、亡くなったがん患者の解剖された肝臓や胃などの臓器をゴム手袋をはめた手で触った。

生徒らは「実際に見るのは初めて。がんによって色が変わった肝臓や細胞の変化がよく分かった」などと話していた。